

荊崎市地域包括支援センター運営協議会会議録(要旨)

1 会議の名称	荊崎市地域包括支援センター運営協議会
2 日時	令和8年2月24日(火) 午後1時30分～午後3時15分
3 場所	荊崎市役所 大会議室
4 議題 (協議事項)	<p>荊崎市地域包括支援センター運営協議会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和8年度地域包括支援センター運営方針(案)について 2 令和8年度地域包括支援センター事業計画(案)について 3 令和8年度介護予防支援業務の委託事業所(案)について 4 令和7年度地域ケア会議開催報告について 5 令和7年度認知症初期集中支援チーム活動報告について 6 その他
5 出席委員	水川 勉 会長、作地 慶一 副会長、小田切 優 委員、浅川 節子 委員、金丸 光太郎 委員、今福 久子 委員、井上 泰輔 委員、塚越 暁美 委員、深沢 司 委員、山本 智子 委員、清水 典彦 委員、勝原 慎也 委員、横森 博子 委員 (計 15人出席)
6 公開区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴人の数	0人
8 事務局	【長寿介護課】 保坂課長、霜村、古屋、堀川、櫻本、内藤

【会議の概要】

【協議内容等】

発言者	内容(要旨)
長寿介護課長	【開会】 自己紹介及び会議の司会の担当する旨説明。次第により会を進めていく。
会長	【会長挨拶】ご多用の中、本会に出席いただきありがたい。西暦2000年にスタートし、現在で25年が経過した。その中で地域包括支援センターは高齢者の相談窓口、介護予防の拠点とし、高齢者が安心して生活できるよう取り組みを行ってきた。近年は認知症高齢者支援や独居高齢者の見守りなど地域の課題も多様化しており、ますます支援体制が複雑化している。本日の議題には令和8年度地域包括支援センターの運営方針(案)や事業計画(案)についての承認もあるため、委員各位におかれては、活発なご審議をお願いしたい。
長寿介護課長	【進行】規則第4条規定により会長に議長として以降の議事を依頼
議長	【議事】審議に入る旨の宣言 (1) 荊崎市地域包括支援センター運営協議会、「議案1 令和8年度地域包括支援センター運営方針(案)について」、「議案2 令和8年度地域包括支援センター事業計画(案)について」、「議案3 令和8年度介護予防支援業務の委託事業所(案)について」は関連があるので一括審議とし、事務局に説明を求める。
事務局	【説明】地域包括支援センター運営協議会資料により説明。
議長	【議事】説明事項に対し、委員からの質問・意見を求める。
議長	【質問】介護予防支援業務の委託事業所は1か所増えたという認識で良いか。
事務局	【回答】その通りで、今年度より受託希望があり、1か所増えている。
議長	【質問】来年度に向けた計画の中で、変えたところ、強化したところはどこか。
事務局	【回答】基本的には継続していく形だが、その中で、虐待関係や権利擁護の問題が増えている。丁寧かつ慎重にその方の意思決定を最大限支援するよう取り組みたい。後見人の交流会に関しては、県内で唯一本市のみが行っている事業なので、来年度もより一層力を入れていきたい。もう1点、介護予防の観点から、介護状態にならないための支援が地域包括支援センターの中では重要と考えている。本人が本来持っている力を取り戻せるように、リエイブルメントという考え方の事業を重点的に行っていきたい。まだ新しい事業なので担う事業所も少ないため、土壌作りもしていきたい。
議長	【議事】他の質問・意見を求める。
A委員	【質問】地域まるごと介護予防事業で、平成30年度から実施地区が減っているのはなぜか。

発言者	内容（要旨）
事務局	【回答】地域まるごと介護予防事業に関して、コロナ禍の影響もあり、一度やめると再開が難しい様子がある。市から地域に働きかけを行っている。またそれに合わせ、令和6年度から通いの場支援事業を行っており、地域にとらわれず通いの場を自主的に行う団体に補助を出しており、令和6年度は8団体、今年度は10団体と数が増えている。こちらにも力を入れながら、できる限り複数の通いの場が形成できるよう働きかけていきたい。
議長	【意見】コロナの後、シニアクラブの参加者や活動そのものが減った。また高齢化もあり、活動が難しい状況もある。 【議事】他の質問・意見を求める。
B委員	【質問】家族介護支援事業での実数を知りたい。
事務局	【回答】まず、家族介護教室に関して、本日は延人数のみのお示しになる。家族介護者健康相談事業に関しては、約1~2名が実人数となる。
B委員	【意見】虐待が増えているとの話があった。その話からもこの事業は良いと思う。介護をしている家族の利用者が増えても良い。もっと市民に対してこの事業の周知してほしい。
事務局	【回答】広報やケアマネジャー、認知症の家族会等を通して、一人一人の思いに寄り添いながら家族介護をしている必要な方に届くよう周知方法を見直していく。
議長	【議事】他の質問・意見を求める。
A委員	【意見】手厚い事業計画だと思う。広報に載せるだけでは高齢者には届かない。介護職等に協力を得ながらしっかり広報してほしい。
事務局	【回答】情報を届けるのは難しいが、関係者と連携しながら広報していきたい。
議長	【議事】予防支援業務委託の承認について質問・意見を求める。 質問・意見がないため承認。
各委員	【承認】
議長	【議事】本審議の議決を宣言し、次の議事に移る。 「議案4 令和7年度地域ケア会議開催報告について」、「議案5 令和7年度認知症初期集中支援チーム活動報告について」、事務局に説明を求める。
事務局	【説明】地域包括支援センター運営協議会資料により説明
議長	【議事】説明事項に対し、委員からの質問・意見を求める。
C委員	【質問】認知症初期集中支援チームはどの事業に入るのか。また、初期集中支援チームに対する相談がどのように振り分けられているのか。資料内のフロー図だけでは分かりにくい。
事務局	【回答】認知症初期集中支援推進事業は、包括的支援事業（社会保障充実分）の中になる。また、日々の様々な相談を地域包括で受けた中で、認知症担当が初期集中支援チームでの対応が良いのか精査する流れになる。どの職員が関わるべきなのか包括職員全体で相談して決めている。フロー図の中で文章で明記できない部分もあり、今後はもう少し分かりやすい表記を考える。
議長	【議事】他の質問・意見を求める。
D委員	【意見】1点目、表現として「本人がどう死にたいか」という言葉が印象的に引っかかるので、「人生の最期をどのように迎えるか」のような、やわらかい表現だと良い。2点目、区長の立場で民生委員と関わりがある。民生委員が住民宅に訪問時に本人に会えない時があるが、できる限り本人と直接顔を合わせて言葉を交わしたい、と何度か訪ねているという話を聞いて非常に感動した。
事務局	【回答】本人を理解するために、どういう方なのか、どう生きていきたいか、と理解を進めることが必要になる。市民の方へ向けては、柔らかい言葉で説明していきたい。また、民生委員の方の活動はとてもありがたい。地域の様子を良く分かっており、市として頼らせていただくことも多い。今後も一緒に連携していきたい。
A委員	【意見】私も民生委員だが、会えなければ会えるまで訪問する気持ちでいる。拒否されるケースもあるが、相手の身になり声掛けをするよう意識している。 【質問】初期集中支援チームは介護認定前の方が対象なのか。
事務局	【回答】介護認定前でも認定後の方でも対象になる。
議長	【議事】他の質問・意見を求める。
E委員	【質問】介護申請に行ったが断られたケースがあると聞いたことがある。介護保険の該当にならない方についてはどのようなフォローをしているのか。
事務局	【回答】日々の相談業務の中で申請の案内は迷う部分もある。申請できなかった場合は、その方に合った介護予防事業のサービスを紹介している。例えばガン末期の方でも自立度が高いと介護認

発言者	内容（要旨）
事務局	定が見つからないこともある。医療保険なのか介護保険なのか検討しながらやり取りしている。ちなみに介護保険申請をして非該当となるのは年間5件程度となる。
議長	【議事】本審議の議決を宣言し、次の議事に移る。 「議案6 その他」について、委員及び事務局に意見を求める。
事務局	【説明】・高齢者虐待防止の為の指針 ・感染症の予防及びまん延防止のための指針 ・感染症発生時における業務継続計画 ・自然災害発生時における業務継続計画 について説明
議長	【議事】説明事項に対し、委員からの質問・意見を求める。
各委員	【質問】質問・意見なし。
議長	【議事】全ての審議を終了。進行を事務局に戻す。
長寿介護課長	【進行】会長への長時間に渡る議事の進行への感謝を伝える。 次第4の「その他」として、委員に議事以外の連絡事項等を求める。
各委員	【議事】特になし。
長寿介護課長	【進行】事務局に連絡事項等を求める。
事務局	【回答】特になし。
長寿介護課長	【進行】長時間に渡る審議会への参加に対するお礼。次回会議への各委員の協力を依頼し、協議会を閉会とする。